



平成 25 年度会報第 2 号

平成 25 年 10 月 14 日

(社) 日本山岳会石川支部

支部長 中川 博人

第1・四半期の主要な山行行事が荒天等の都合で中心となりまことに残念でした。事前準備に苦勞された各担当の方は大変お疲れ様でした。

昨今、雨の降り方が尋常ではない時があります。山へお出かけの際には必ず、天気予報、交通情報等で、十分に安全を確認願います。

山行・行事報告

1. 自然保護全国集会(富山・立山)

- ◆ 立山国際ホテル 平成25年7月6日(土)～7日
 - ◆ 参加者 95名(支部:6名 津田文夫 中川博人 藤江以住 埴崎滋 安田二三男 長清幸子)
・フィールドスタディ 室堂周辺・弥陀ヶ原周辺・立山博物館/立山カルデラ博物館
 - ・日程 (7/6) *各支部報告 18支部
石川支部 「ふるさと登山道整備事業」=長清幸子
パワーポイントを使つての提示で好評を博す
 - *基調講演 1.「立山連峰の積雪と氷河」
立山カルデラ博物館学芸課長=飯田肇(富山支部)
 - 2.「弥陀ヶ原の自然と今昔」
環境省自然保護指導員=佐藤武彦(富山支部)
 - *グループ討議・発表
 - 1.湿原の自然と保護
(参加者) 津田 中川 安田 長清
 - 2.ライチョウの生態と保護
(参加者) 藤江 埴崎
 - 3.信仰登山について
 - 4.持続可能な自然環境の保護について
 - *懇親会 全国の会員等と親睦を深める
- (7/7) *フィールドスタディ
途中降雨となるも予定通り実施後に現地で解散

各支部の取り組み事例として=湿地の保全、清掃登山、危惧植物の植生調査/観察、森づくり、自然観察会(音楽会)、山岳環境シンポジウム(勉強会)、有害獣の調査等が報告された。

2. 上高地散策

- ◆ 上高地山岳研究所、ひょうたん池・岳沢 平成25年8月3日(土)～4日
- ◆ 参加者20名 関本邦晴(CL) 田井友泰(SL) 安田二三男 井村喜久夫 大庭保夫
織田伸治 樽矢導章 津田文夫 埴崎滋 東野智也 村上哲
八十嶋仁 大庭大洋子、
(埴崎友人:中島優美 高山千鶴 高桑真知子 高桑祥子) (村上友人:品田紀子)
(織田友人:西尾昭浩) (関本友人:山本瑠里子)

会員12名 会友1名 その他7名



8月3日、4日の土日、「上高地山岳研究所」に宿泊し、3日は、Aコースひょうたん池、6名、Bコース、岳沢、8名でワンデイハイクを愉しんだ、天候に恵まれ下界の猛暑をよそにノンビリと(ひょうたん池メンバーはそうではなかったようだが)歩いて来た。岳沢コースには、埴崎、安田会員が参加しており自然観察会の様相、風穴では穴の中の氷に驚き、ヒカリゴケを見つけて立ち止まり、「高山植物の4ツ目の名前を聞いたとたん最初の名前を忘れた」とか喋りながら楽しく歩き、予定では2時間半で小屋に着く予定だったのが予定を1時間もオーバーした。

岳沢小屋の周囲では、座った場所に途中で追い越されたドイツ人の男女とオーストリアの男女

が座っておりブロークンな英語で漬け物や果物を勧めるなど楽しく昼食を頂いた。

「山研」は7月下旬の大雨で水源である善六沢が濁り取水口も壊れてしまった、そのために風呂が使えず、トイレも男女共有、飲料水にも事欠くしだい。

入浴は、小梨平にある「小梨の湯」へ行き、その後女性は、夕食準備、管理人の内野さんと男性は、水運び、近くの白樺荘までポリタンク4本を車に積んで1回80リットル、5往復し建物裏にある給水タンクに補給、水運びが終わった頃「ひょうたん池」メンバーが下山してくる。

ひょうたん池コースは、ゴーロ沢の登行でルートファインディング(岩に付けられたマークが雪崩や崩落などで移動したのではないか)に

手間取り予定時間を1時間ほどオーバーしてひょうたん池に着いたそうだが、本質的な登山を味わったのかも知れない。

とりあえず全員集結したのは17時頃。

食事は洗いを極力減らすために全て紙皿を使用する。

夕食は、織田さんが釣ってきた鮎を炭火で焼き熱々を美味しく頂き、女性陣が調理してくれたすき焼きで楽しく盛り上がった。

翌4日は埴崎会員の案内で梓川左岸の小梨平周辺で自然観察を行ったあと、乗車グループごと自由解散とした。

(文・写真 関本邦晴)

<参考>

8月11日「山研」のブログから抜粋

取水復旧しました!!

取水が復旧いたしました。通常通りご利用いただけます。

今回の断水は10日間に渡りました。この間にご利用いただいた会員は約60名。

不自由な環境でしたが、多くの会員の方にご利用いただきました。

ご協力ありがとうございました!

管理人より皆さんとても協力的で、不自由な水の使い方はさすが山歩きをされる方たちだとお話がありました。

また、重労働の水汲みをお手伝いいただいた会員の方もいっぱいいらっしゃいました。

管理人の内野さんより以下のコメントが石川支部に届いています。

『ポリタンクで何往復も、石川支部ほかの水くみ隊の皆さま、どうもありがとうございました。

「貴重」という言葉には「重たい」という字が入っていますが、文字通り水の「貴重さ」を体で感じました。』

今後の行事予定

参加希望者は、担当者もしくは事務局(前川:080-1952-7298 メール:maekawayo@gmail.com)まで申し込みください。

1. (公)ふるさと登山道整備(不惑新道)兼紅葉山行

不惑新道を開いて4年目、火燈古道は2年目で周回できるようになって大勢の人が歩いてくれるようになり、踏跡がしっかりしてきました。

しかし、一部に柴草が被っているところもあります。紅葉山行を兼ねて、整備作業を次のとおり実施します。

- ・期日 10月26日(土) 雨天の場合は翌日27日(日)
- ・コース 7:00 大内登山口～8:30 富士写ヶ岳～不惑新道(9:30 最低鞍部～13:30 小倉谷山～14:00 火燈山)～火燈古道～15:00 大内登山道

- ・担当者 大庭保夫 TEL0761-72-4437 携帯 090-9449-5201
 - ・作業区間 上記最低鞍部から小倉谷山までの稜線部分
 - ・作業内容 切り株の根本などの柴や茂った草の刈払い、登山道拡幅
 - ・用具 チェンソー、鎌、鋸など (チェンソーが一番有効)
 - ・服装等 作業のできる服装、昼食など各自持参
 - ・集合場所 加賀市山中温泉大内町 (東屋のある広場横駐車場)
 - ・申込〆切 10月23日 (水) までに担当者へ (メールまたは電話で)
 - ・その他 その他、必要な事項があれば、前日までに参加者へ連絡します。
- 大庭会員より：来春、新緑の美しい時期に峠の神社跡でテント泊キャンプを企画したいと考えております。

2. (公)自然観察会兼紅葉山行〔火燈山(803m)～小倉谷山(911m)〕

加賀富士と称される「富士写ガ岳」と小倉谷山間の不惑新道は5月上旬のシャクナゲで有名であるが、火燈山のそれは殆んど見られなくなったとされる。

火燈山は名の通り信仰・修験の対象としては、古い歴史が有り、里山としての常緑照葉樹林と

落葉広葉樹林 (山地帯=ブナ帯) の双方の植生垂直分布帯が観察される。

地元の有志がJAC石川の大場会員を中心のサポートで復元整備された「火燈古道」を辿る。一部に急登もあるが、往時の白山伏拝を再現するコースでもある。

- ・日時 11月9日(土) 雨天中止(順延なし)
- ・集合場所 コース 午前9時国道364号の丸岡・山中温泉トンネル手前より左の旧道に入る。南下後、少して旧大内集落跡駐車場に到着(集合場所)。
9時10分出発 12時火燈山(昼食) 12時30分～13時30分小倉谷山往
15時登山口=解散
*時間がタイトなので、富士写ガ岳往きは申告での任意とします。
- ・定員 30名
- ・参加要綱
 - ・秋山登山装備(昼食等持参)
 - ・JAC 会員・会友とその紹介者(名前・住所・年齢・tel を連絡の事)
 - ・傷害保険は自己責任で
- ・担当者 安田二三男会員 090-8960-8411
長清幸子会員 090-6278-4995
埴崎滋会員 090-4327-2055
*出来れば SMS にて送信願えれば幸いです。
- ・申込〆切 10月19日までに各担当者へ(メールまたは電話で)

3. 五支部合同懇親山行(担当:京都 滋賀支部)

5支部合同懇親山行は、友好五支部が毎年持ち回りで実施しており、懇親を深める絶好のチャンスでもあります。

今回は、京都・滋賀支部さんの企画で、「歴史感漂う錦秋の湖南アルプス」です。

是非、たくさんご参加願います。

(注)先にメールでお知らせ済です。

歴史と展望の山歩き

- 1.場所 湖南アルプス金勝山(コゼヤマ)(竜王山604.7m) 滋賀県栗東市
- 2.日程 平成25年11月16日(土)～17日
 - ・16日 集合 「アーブしが」 受付15時～
 - ・17日 湖南アルプス金勝山(コゼヤマ)
(竜王山 604.7m 歩行約5H)
* 雨天時は金勝寺と狛坂磨崖仏、逆さ観音磨崖仏を見学。
- 3.宿泊 名勝瀬田の唐橋畔
「アーブしが」(財団法人滋賀県青年会館:瀬田川中洲に建立)
〒520-0851 大津市唐橋町23-3
Tel 077-537-2753
- 4.会費 12,000円(受付時にお支払い下さい。)
- 5.申込等 10月3日までに石川支部事務局(前川)へメールもしくは電話にて
 - ・メール maekawayo@gmail.com
 - ・電話 080-1952-7298
- 6.その他 現地までの足等、詳細は参加者決定次第調整の上、別途参加者に連絡します。

4. 石川支部 山祭り

今年も夏場からは、猛暑に大雨と異常気象に翻弄された年になりました。

恒例の山祭りを下記のとおり開催しますので、会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

- ・ 日時 平成25年11月29日(金) 宿泊 翌朝解散
- ・ 場所 栗津温泉「おびし荘」 電話(0761)65-1831
- ・ 開演 18時～
- ・ 会費 11,000円
- ・ 担当者 織田伸治
- ・ 申込 担当者までメールまたは電話で

パソコンメールアドレス o-shin@msi.biglobe.ne.jp

携帯メールアドレス oshin_2526@ezweb.ne.jp

携帯番号 090-6273-4772 (こちらのショートメールでも可)

- ・ 申込〆切り 11月18日(月)

おしらせ

1、「深田久弥山の文化館講演会」の開催について

(大庭保夫会員から情報提供いただきました。)

- ・ 古原和美氏講演会
- ・ 演題 「深田久弥と私」
- ・ 日時 平成25年11月10日(日) 13時30分～
- ・ 場所 深田久弥山の文化館
- ・ 講師紹介

古原和美 (コハラかずよし) 氏

深田久弥氏とジュガール・ヒマールへ行った4人の一人で、ヒマラヤ登山の草分け的存在。

医師で90歳、いまなお現役で長野県山岳協会名誉会長

以下、元石川支部会員の沖允人さんから大庭さんを通じてご紹介いただきました。

⇒昭和27年山形国体以来のおつきあいで、昭和33年のジュガール・ヒマール、ランタン・ヒマールの探査、第2次 R.C.C (クライマー集団)、A.J.C.S.S. (クライマーのシンポジウム) ヒンズークシュ・カラコルム会議と常に一緒に行動しておりました。

<略歴> 長野県山岳協会名誉会長

日本登山医学会名誉会員

現在信州大学医学部山岳部ヘッド・コーチ

2. 本部講習会(JAC YOUTH)の参加について (報告)

安全登山普及(クライミング技術向上)と支部後継者育成の一環として、以下のとおり会員1名を本部講習会に派遣しました。

- ・ 主催者 日本山岳会
- ・ 講習会名 第1回全国安全登山実技講習会
- ・ 日程 平成25年9月21日(土)～23日
- ・ 場所 国立登山研修所 劔沢夏山前進基地
- ・ 派遣会員 八十嶋 仁

3. 「親子で楽しむ山登り」制作（参照：H25 年度会報 1 号）に伴う 「親子登山おすすめコース」の紹介について（報告）

本部から正式依頼を受け、提出まで1ヶ月ほどしかなかったため、支部長と相談の結果事務局（前川）で作成。山の場所は、多様性、安全性、設備環境、交通の利便性等を考慮し「医王山」に決定。（医王山は県立自然公園で大池平は国民休養地にも指定）

コースは当初、西尾平～白兀山～靉～西尾平を設定したが、現地調査の結果、医王山の折角の多様性や子供の遊び場所の選択から、医王山ビジターセンター～三色泉～三蛇ヶ滝～トンビ岩～白兀山～大沼（大池平休憩所）～医王山ビジターセンターに変更する。

なお、トンビ岩については、危険分散や高所恐怖症等も考慮し迂回ルートも設定する。
その他、子供向けの三択クイズや、子供が写っている写真（但し、勝手に写した写真はダメ）が必要等で、時間がタイトななか、結構たいへんでした。

4. 新版「日本三百名山登山ガイド（全3巻）」執筆状況と協力依頼

2000～2001年に山と溪谷社から出版された同名のガイドブックを全面的にリメイクし、最新情報や写真を盛り込んだ「日本山岳会版」として、2014年5月に3巻まとめて同時発売する予定であり、現在原稿締め切りに向け、各担当者が尽力されています。石川支部は6山受持ち（カッコ内は担当者）で、医王山（埴崎さん）、大門山（長清さん）、大笠山（石森さん）、笈ヶ岳（八十嶋さん）、三方岩岳（前川）、白山（西嶋さん）です。

提示した登山季節により原稿〆切りが決められており、春～夏季取材分の医王山、笈ヶ岳、白山は本年10月末〆切り、秋季取材分の大門山、大笠山、三方岩岳は本年12月末が〆切りです。

支部事務局（前川）で〆切り別に一括取りまとめのうえ、本部へ提出することになっていますが、会員各位には、各担当者から取材同行や、情報提供等各種協力依頼があった際には、格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

5. 山の推薦について

山の高い、低いにかかわらず、面白い山があれば事務局までご一報ください。

皆さんに情報提供させていただきます。

6. 会友の退会について

二木陽平さんが本年六月末で退会されました。

◆お詫び

会報H25 第2号の発行が、予定より2週間ほど遅くなってしまいました。
お詫び申し上げます。